

かじや知宏 議員報告



<生年月日>昭和43年9月12日 <年齢>42歳 <出身地>大阪府枚方市 <趣味>読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り <血液型>O型
<経歴>阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

<市役所>〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

<自宅>〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>

4月24日に投開票が行われた枚方市議会議員選挙において、2809票のご支持を頂き、32位で初めての当選をさせて頂くことができました。これからの4年間、市議会議員として皆さまのご期待にお応えできるよう、枚方市政の改革に向け精一杯頑張っていきます。今号ではこの間の活動報告として、6月議会で私が初めて行った一般質問5項目の内3項目の要旨を中心に掲載します(今回掲載できなかった項目につきましては、かじや知宏のホームページ等に掲載する予定です。また、正式な議事録は、数か月後に市役所・図書館の他、市議会のホームページ等でも閲覧が可能です)。

6月議会 かじや知宏の一般質問<要旨>

覚悟を決めて行財政改革を訴えていきます！

少子高齢化の時代を迎え、税収の減少や扶助費の増大など、市政を取り巻く状況は大変厳しいものがあります。この厳しい時代を乗り越え、停滞・後退した市政を再生し、財政危機から枚方を救うには、覚悟を決めて行財政改革を推し進めていかなければなりません。私は「声なき市民の声」に耳を傾け、既得権益に縛られず、ぶれずに行革を訴えていくとともに、「おかしいこと」に対しては、はっきり「おかしい」と言っていきたいと考えています。今後4年間、以上の視点から行政に対して質問を行っていきます。

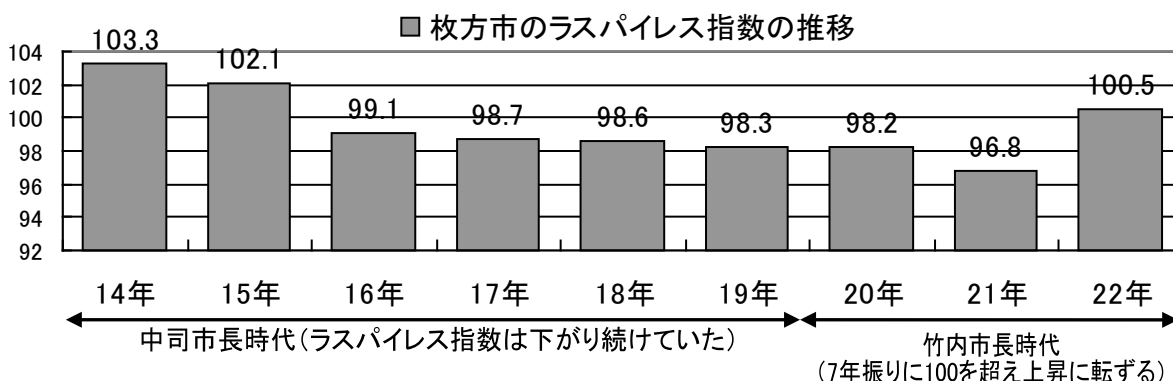
質問1 市長の政治姿勢について

①ラスパイレス指数が7年振りに100超え 竹内市政のもと職員の厚遇に拍車？

【かじや 質問】これまで100を下回っていた枚方市のラスパイレス指数が、平成22年度に100.5となった。

平成15年度以来7年振りに100を超えたことについて、市長はどのような認識を持っているのか？

【市長 答弁】公務労働への対価はどうあるべきかを多面的観点から検証し、国、他の自治体、民間事業所との均衡を確保し、適正な給与水準の維持を図るとともに、さらなる人件費の縮減に取り組んでいく。

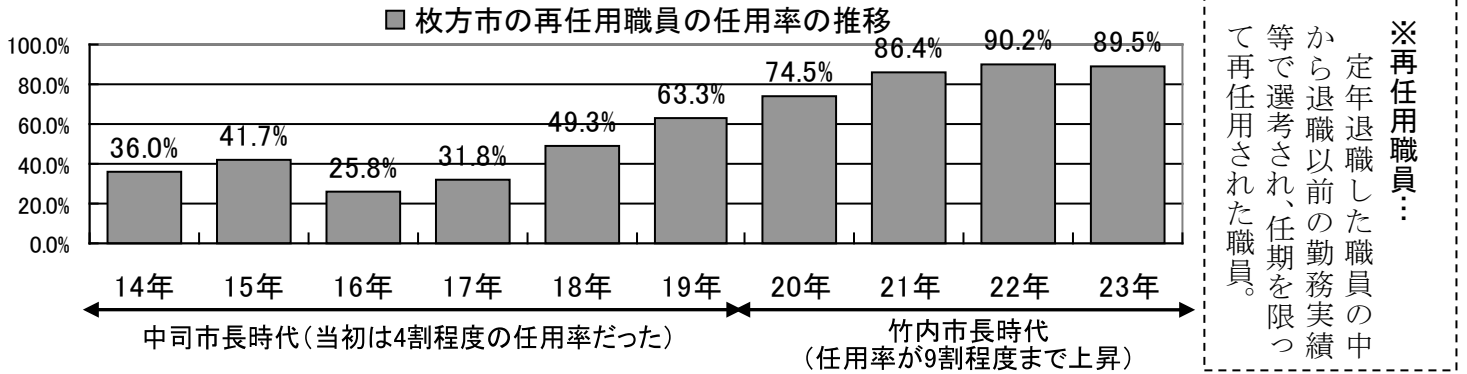


※ラスパイレス指数：
国家公務員の基本給を100とした場合の地方公務員(一般行政職)の給与水準を示したものである。

②再任用職員の任用率が4割から9割に上昇 任用ありきの不必要な任用では？

【かじや 質問】再任用制度が導入された当初の任用率は4割程度であったが、その後、任用率は上昇し、近年の任用率は9割程度となっており、ほぼ全員が任用されている。高齢者の雇用を推進する必要性は十分に認識しているが、本当にこれだけの再任用職員が必要なのか。採用ありきを前提とした余分な採用をしているのではないか。制度のあり方を含めて市長の見解を聞く。

【市長 答弁】法の趣旨に則し、市民感覚と乖離することがないように適正な制度運用に努めていく。



③2592万円もの市長退職手当 この厳しい状況下でなぜ廃止・削減しないのか？

【かじや 質問】市長は、昨年9月の定例市議会の一般質問で、退職手当について「社会・経済情勢を見極め、適切に対応していく」と答弁している。当時と比べ、社会・経済状況はさらに厳しさが増しており、また本年3月には東日本大震災が発生するなど、まさに国難と言われる状況である。「適切に対応していく」との趣旨からすれば、今こそ適切に対応するべき時と思うが、退職手当の削減や廃止などの考えがあるのか。

【市長 答弁】退職手当の額については、4年という任期の間、41万市民の生命・財産の安全を預かる市長としての職責を全うした者が受けるべき額が、条例により定められているので、その規定通りに対応する。



かじや知宏の視点 Part1

職員の既得権を守る市長に枚方は任せられない

竹内市長が4年前に配布したManifestoには「たゆみない改革・改善に取り組み、効率的・効果的な行政運営を行う」と公約していますが、実際にはラスパレス指数が7年振りに100を超え、再任用職員の任用率が9割に上昇、国難と言われる状況で2592万円もの退職手当を満額受け取る結果を見ると、**改革・改善とは全く逆の方向**に向かっています。これでは**完全な公約違反**です。

また、今回の竹内市長の答弁を聞いてみると、**官僚答弁の域を出ていない**と感じました。職員の人事・給与制度の厚遇化の要因として、市長は法令や制度など様々な理由をあげていますが、市民の視点に立って制度を変えていくのが政治家としての市長の役割です。市長が職員と同じ感覚では、様々

な制度の壁を乗り越えることはできません。今回の質問で分かったことは、竹内市長は市民の視点に立って制度の壁を乗り越える決断をせず、**職員の給与・待遇を守る立場に立った**市政運営をしてきたということです。**この4年間の市政の停滞と後退**の原因がはっきりしました。

市の財政をはじめ社会・経済状況が厳しい中、将来にわたって市民サービスを守るためには、大胆な改革が求められています。しかし、**竹内市長は職員の既得権を守り、市民のための改革には後ろ向き**です。職員人件費に切り込まずして、これからの**厳しい時代を乗り切ることは不可能**です。竹内市長に**枚方市の未来を託すことはできない**と改めて感じました。

質問2 コミュニティ・自治会の政治活動と公職の推薦依頼について

①投票立会人の選任の際、政治団体(後援会等)の所属についても確認を

【かじや 質問】市議会議員などの選挙の際、投票所にいる投票立会人の選任方法について聞く。

【総務部長 答弁】自治会等から推薦を頂き、選挙管理委員会で選任をしている。公職選挙法では「同一の政党その他の政治団体に所属する者は、一の投票区において、二人以上を投票立会人に選任することができない」と規定されている。選任に当たっては、本人から住所、氏名、性別、生年月日、所属政党を記載する承諾書の提出を求め、所属政党が重複していないかを確認している。

【かじや 質問】現在、承諾書による確認は、所属政党のみとなっているが、公職選挙法ではその他の政治団体(後援会等)の所属についても規定がされている。法の適正な執行を行っていく上で、今後、所属政治団体についても確認をとる必要があるのではないかと。

【総務部長 答弁】立会人予定者には、所属政党の他、所属する政治団体も承諾書に記載するよう求めていく。

②自治会等の政治活動について、市民から相談・要望があればしっかり対応を

【かじや 質問】市民から、一部の地域において自治会等が組織ぐるみで公然と政治活動・選挙活動を行っているという話を聞く。そのような事実について市として認識をしているのか？

【市民安全部長 答弁】そのような事実については、把握していない。

【かじや 要望】私のところには、多くの市民から相談がきている。今後、市に相談・要望があった場合は「職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例」に則って、しっかりと対応するようお願いする。



かじや知宏の視点 Part2

自治会の政治活動に問題あり 市は早急に改善を

自治会に対しては、市から投票立会人をはじめとする様々な公職の推薦依頼や、補助が行われており、また自治会の加入率向上を目指して市が積極的にキャンペーンを行っていることを考えると、自治会は非常に公益性が強い団体と考えられます。このように公益性の強い自治会が、**組織ぐるみで特定の政治家を推薦するなどの政治・選挙活動を行うことは、非常に問題があります。**

今後、組織ぐるみで政治・選挙活動を行う自治会に対しては、市からの補助の廃止を含めてその関わり方について見直すとともに、その職務の公正・公

平性に鑑み、投票立会人等の公職の推薦依頼についても見直すべきです。

この問題については、私のところにも多くの相談が寄せられていることから、**今後も徹底的に追及していくとともに、枚方市に対して改善を求めていきます。**

※校区コミュニティや自治会の運営について、お困りの事例がございましたら、かじや知宏までご相談ください。また、自治会等の政治活動への苦情・ご意見もお気軽にお寄せください。

枚方市政に関するご意見・ご提言・ご感想をお聞かせください

この議員報告は市政調査の目的で発行しています。枚方市政に関するご意見・ご提言・ご感想がございましたら、お気軽にお寄せください。皆さまから頂戴したご意見等は、今後の議員活動に生かしていきます。なお、匿名の方からのお問い合わせについては、ご対応できかねますのでご了承ください。

質問3 災害時の情報伝達手段について

「エフエムひらかた」に偏ることなく、ツイッターなどの活用も

【かじや 質問】 枚方市では、災害時の情報伝達手段としてエフエムひらかたに年間 6730 万円もの委託料を払うなど多くの費用を割いている。その一方で、ホームページも災害時の重要な情報伝達手段だと思うが、アクセス集中時の対策はできているのか。また、ツイッターなどのネット媒体の活用も検討すべきではないか。

【市長公室長 答弁】 サーバへの同時アクセス件数の上限設定を上げるなどアクセス環境の改善に努め、別サーバの携帯電話用ホームページもPRする。また、ツイッターについても導入を検討する。

※ツイッターとは… 140 字以内の文書を投稿できるインターネット上の簡易投稿サイト

その他 6 月議会の案件 **議会改革調査特別委員会を設置**… 議員提案で議会改革調査特別委員会の設置が決まりました。平成 27 年 4 月の任期末日までの常設の特別委員会として、議員報酬及び議員定数に関することをはじめ、議会の組織、運営等のあり方について調査・検討を行っていきます。

会派「みんなの党市民会議」を結成 市政の改革を進めていきます

枚方市議会では、主義主張を同じくする 3 人以上の議員で構成する会派を単位として議会運営を行っており、議会活動をしっかりと行うためには会派に所属する必要があります。そこで、みんなの党のメンバーである池上典子議員、高橋伸介議員と私の 3 名で「みんなの党市民会議」という会派を結成しました。また、私たちと同じ改革路

線を掲げる無所属の岡沢龍一議員、清水薫議員、岩本優祐議員、木村亮太議員の 4 名が「未来に責任・みんなの会」という会派を結成されました。今後、枚方市の改革を前進させるため「みんなの党市民会議」「未来に責任・みんなの会」の 2 つの会派（総勢 7 名）で、「みんなグループ」として連携して議会活動に当たっていきます。

8 月 28 日は枚方市長選挙の投票日です あなたの一票が枚方の未来を決めます！

今度の選挙は、枚方市の未来を決める大事な選挙です。枚方市の財政はまったなしの非常に厳しい状況です。次の市長には、職員人件費の大幅な削減など、既得権益団体と決別する覚悟で行財政改革に取り組むことが求められています。皆さま、ぜひとも各候補者の政策を比べて頂き、投票所へ足をお運びください。

長尾・牧野駅前で議員報告を行っています ～390 回継続中～

市民の皆さまと市政情報を共有したいとの思いから、午前 6 時 20 分頃～8 時 30 分頃に長尾・牧野駅前「議員報告」の配布とそこでご報告を行っています。平成 18 年 7 月に開始した駅前での報告活動も、ついに 6 年目に突入し、トータルで 390 回を数えました。これからも継続していきますので、もし駅前で見かけられましたらお気軽にお声掛けください。



活動の詳細については「かじや知宏のホームページ」をご覧ください

詳しくは **かじや知宏** で **検索**

twitter @kajiya_tomohiro

携帯電話からも私の活動記録をご覧になることができます→

